

# 参議院とは何か

参議院とは何か  
1947～2010  
竹中治堅



中公叢書

[参議院とは何か\\_下载链接1](#)

著者:竹中 治堅

出版者:中央公論新社

出版时间:2010-5

装帧:平装

isbn:9784120041266

これまで、政治過程において参議院が果たす役割について、二つの見方が対立してきた。一つは、「強い参議院」論と呼ばれ、参議院に大きな役割を認める。もう二つは、「カーボンコピー」論と呼ばれ、参議院の役割を限定して捉える。本書はこの対立に決着をつける。このため、参議院が創設された一九四七年から政権交代直後の二〇一〇年にいたるまでの期間に日本の政治過程において、参議院が果たしてきた役割を辿る。そして、参議院とは何か、明らかにする。

作者介绍:

竹中/治堅

1971(昭和46)年東京都生まれ。93年東京大学法学部卒業、同年大蔵省入省。98年スタンフォード大学政治学部博士課程修了。Ph.D.(政治学)。99年より政策研究大学院大学助教授。2003年9月から04年8月までスタンフォード大学客員研究員。10年4月より政策研究大学院大学教授。専攻:比較政治、日本政治(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

## 目录: 序章 参議院の見方

- 第1章 内閣の鬼門—吉田茂と参議院
- 第2章 議長の時代—松野鶴平と重宗雄三
- 第3章 河野謙三の登場
- 第4章 五五年体制の崩壊と参議院
- 第5章 「首相支配」と参議院—再び内閣の鬼門化
- 第6章 再可決の時代
- 第7章 参議院の役割
- ・ · · · · (收起)

[参議院とは何か](#) [下载链接1](#)

## 标签

日本政治

比较政治

政治史

国会政治

## 评论

Machidori教授在Levithan上有一篇对于此书的书评。指出此书的确是日本现代政治史研究的名作。除去先前文献回顾部分多少有些对于先端研究理解不足之外，对于参议院的政党政治有着极为细致的把握和描绘。何等的议会政治都是政党政治的产物，读完此书再次确认了这一点。

---

大概是最近的十年多的时间里，日本国会政治的研究才开始从长期的沉寂中出现新的研究的高峰。就这个相当早便确立议会内阁制的国家而言，多少算是一个让人不解的例外。就比较政治学的基于政治过程中的正式议决程序与选出方式的差异的划分，日本议会属于均衡的，弱两院制的类别。自然说起来略微让人感到有些讽刺，如若不是战后日本某些政治家自身的坚持，占领军原本所预计导入的是一院制的制度。然而，迟至90年代，人们才开始真正理解，这个所谓均衡的“弱”两院制在政治制度归结上的含义。此书在日本政治研究中有着里程碑的意义，其要点就在于，作者成功地通过案例研究导出了研究者们可以通过过程追溯验证特定制度制约下政治家们“合理”的政治行为选择的特性和理解制度内生性演变中的一些关键性的历史事实。在此之前，几乎从未有人做得这一点。

---

[参議院とは何か](#) [下载链接1](#)

## 书评

---

[参議院とは何か](#) [下载链接1](#)